



環境省
エコアクション21
認証番号0002884


エコアクション21
環境経営レポート

令和元年度（2019年度）

対象期間：2019年6月1日～2020年5月31日

対象範囲：全組織

第12版 2020年9月1日発行
2020年9月30日更新



山武設備株式会社

〒424-0863 静岡県静岡市清水区船越南町 240-1

[TEL] 054-351-2551

[FAX] 054-351-2567

目次

1. 組織の概要、社是、事業活動の概要	1
2. 実施体制	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	8
● 二酸化炭素排出量の削減	8
● 廃棄物排出量の削減	10
● 水使用量の削減	11
● グリーン購入	11
● 地域貢献活動	11
● 上下水道漏水復旧活動	12
● その他（全般的な取組）	12
● その他の取組	13
● 環境活動の取組計画	14
6. 環境経営目標の実績	15
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	22
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	25
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	26

1. 組織の概要、社是、事業活動の概要

- ・事業所名及び代表者氏名 山武設備株式会社
代表取締役 神田 誠
- ・所在地 本社 静岡県静岡市清水区船越南町 240-1
船越倉庫 静岡市清水区木の下町 105
吉川倉庫 静岡市清水区吉川 780
庵原資材置場 静岡市清水区原 38-1
日本平資材置場 静岡市清水区草薙 427-16
- ・環境管理責任者氏名 青木 茂篤 (専務取締役)
及び担当者連絡先 TEL : 054-351-2551
FAX : 054-351-2567
Mail : info @ yamatake-setsubi.co.jp
- ・建設業許可 静岡県知事許可(特)第2932号
管、土木、とび・土工、水道施設、舗装 工事業
- ・営業許可・指定 静岡市指定給水装置工事事業者 第215号
静岡市下水道排水設備指定工事店 第242号
静岡ガス(株)指定工事店認可 第20326号
- ・法人設立年月日 昭和50年6月6日



社 是「真心と技術」

・事業活動の内容

上水道・工業用水道本管布設工事
下水道管布設工事
給排水衛生設備工事、消防設備工事
産業廃棄物収集運搬業

・事業の規模

年間売上高（令和元年度）	441.8 百万円（税抜）
2019年度（2019年6月～2020年5月）	
工事件数	578 件
受託した産業廃棄物収集運搬量	35.5 t
収集運搬売上高	4 万円（税抜）
従業員数	23 人
資本金	2,000 万円
本社社屋延床面積	264 m ²
船越倉庫延床面積	250 m ²
吉川倉庫延床面積	330 m ²

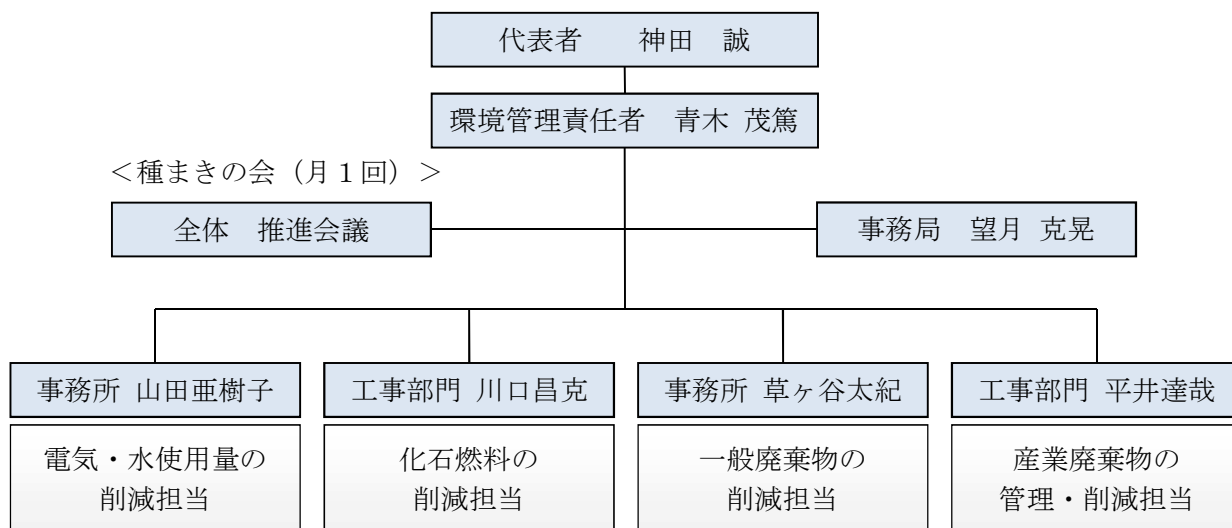
- ・ 産業廃棄物収集運搬業許可 静岡県 許可番号：第 02202081879 号
 許可年月日：平成 28 年 12 月 26 日
 有効年月日：平成 33 年 12 月 25 日
- ・ 事業の区分 収集運搬（積替え及び保管行為を除く）
- ・ 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除く)、金属くず、
 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿
 含有廃棄物を含む）、がれき類(石綿含有廃棄物を含む)、
 紙くず、木くず、繊維くず
- ・ 運搬車両の種類と台数 2t ダンプ（1 台）、3t ダンプ（8 台）
 4t ダンプ（2 台）
- ・ 廃棄物処理料金 収集運搬料金については、種類、量、距離により
 計算見積致します
- ・ 有資格者

管工事施工管理技士	1 級（5 名）	2 級（4 名）
土木施工管理技士	1 級（9 名）	2 級（6 名）
舗装施工管理技術者	1 級（2 名）	2 級（2 名）
配管技能士	1 級（2 名）	2 級（9 名）
水道施設管理技士	2 級（1 名）	3 級（3 名）
建設機械施工技士	2 級（2 名）	
建設業経理事務士	2 級（3 名）	
給水装置工事主任技術者	（1 1 名）	
下水道排水設備工事責任技術者	（1 2 名）	
消防設備士	（3 名）	
浄化槽設備士	（1 名）	

2. 実施体制

制定日 2007年9月1日

改訂日 2019年9月2日



代表者：神田 誠

- 1) 環境経営方針の決定
- 2) 環境管理責任者の任命
- 3) 資源（人材、資金、技術・設備）の準備
- 4) 全体の評価と見直し・指示
- 5) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する収集・運搬課程の取得
- 6) 実施体制の構築

環境管理責任者：青木 茂篤

- 1) システムの総責任者としての権限を他の責任に関わらず持つ
- 2) システムの実績を代表者に報告

事務局：望月 克晃

- 1) システム全般の事務管理
- 2) 環境関連文章の管理
- 3) 記録の作成・整理
- 4) グリーン購入、地域貢献活動、その他の取組担当

推進会議：全員参加

- 1) 種まきの会（安全衛生協議会）、工程会議を通じてエコアクションの情報を共有

3. 環境経営方針

基本理念

山武設備株式会社は、当社の事業活動において自然環境の保全と維持及び経営と環境の両面において継続的な改善に努め、さらに高い目標に向かって持続可能な次世代に残るより良い地球環境づくりに、社員一丸となって貢献していきます。

基本方針

1. 事業所及び現場で使用する電気、燃料、水の使用量削減に努め、CO₂総排出量の削減に取り組みます。
2. 現場で発生した産業廃棄物、事業所で発生する資源ゴミについて分別・再資源化に努め、廃棄物総排出量の削減に取り組みます。
3. 環境関連法規等の遵守に努めます。
4. グリーン商品を積極的に購入します。
5. 社員及び協力会社に環境方針を周知徹底し、環境保全に対する教育活動を定期的に行い、自己啓発を高めより一層邁進して行きます。
6. 資材倉庫に隣接する公園の清掃活動を実施して周辺的环境美化に寄与します。
7. 上下水道の漏水復旧を迅速に行い、住民の生活及び環境保全に努めます。
8. ライフラインの更新や維持を通じて上水道の漏水率を低減し、環境負荷の抑制に貢献していきます。

制定日 2007年9月1日

改定日 2019年9月25日

山武設備株式会社
代表取締役 神田 誠

4. 環境経営目標

		基準	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
目標削減率		100%	99.5%	99.0%	98.5%	98.0%
1. 二酸化炭素	Kg-CO2/年	92,895	92,511	91,966	91,502	91,037
電力	kWh/年	20,251	20,150	20,048	19,947	19,846
ガソリン	L/年	10,784	10,730	10,676	10,622	10,568
軽油	L/年	22,123	22,012	21,902	21,791	21,681
都市ガス	Nm ³ /年	18	18	18	18	18
2. 廃棄物	Kg/年	4,633	4,610	4,587	4,564	4,540
産業廃棄物	kg/年	4,097	4,077	4,056	4,036	4,015
一般廃棄物	kg/年	536	533	531	528	525
3. 総排水量	m ³ /年	165	165	165	165	165
4. 水使用量	m ³ /年	252	252	252	252	252
5. グリーン購入	%	76	76	76	76	76
6. 地域貢献活動	回	24	24	24	24	24

※目標の基準に利用する電気事業者別二酸化炭素排出係数

平成 29 年度まで 0.486 (kg-CO2/kWh) 「H27 中部電力株式会社」(実排出係数)

平成 30 年度より 0.482 (kg-CO2/kWh) 「H27 中部電力株式会社」(調整後係数)

排出量で目標管理を行うが、年度毎の変動に対応するため、
売上高原単位でも評価管理を行う。

1) 二酸化炭素排出量

排出量で毎年基準比 0.5%の削減を行う。

※基準：平成 26 年（2014 年）から平成 28 年（2016 年）までの平均値

2) 廃棄物排出量

排出量で毎年基準比 0.5%の削減を行う。

※基準：平成 26 年（2014 年）から平成 28 年（2016 年）までの平均値

工事で排出された廃棄物に関して可能な限りの再資源化と適切な管理を行う。

3) 総排水量

総排水量においては生活用に限られており、これ以上の削減は難しいので現状維持を目標とする。現状維持を目標とするが節水を心がけ、雨水を利用するなど少しでも使用量を減らすよう努力する。

※基準：平成 26 年（2014 年）から平成 28 年（2016 年）までの平均値

4) 水使用量

水使用量においては大部分が生活用等に限られており、これ以上の削減は難しいので現状維持を目標とする。現状維持を目標とするが節水を心がけ、雨水を利用するなど少しでも使用量を減らすよう努力する。

※基準：平成 26 年（2014 年）から平成 28 年（2016 年）までの平均値

5) グリーン購入

以前よりグリーン商品を積極的に購入しており、これ以上グリーン商品の品目比率を高める事は非常に困難の為、現状維持を目標とする。

現状維持を目標としているが、今後もグリーン商品の購入や、さらにグリーン商品を採用できないか検討を行っていききたい。

※基準：平成 19 年（2007 年）から平成 28 年（2016 年）までの平均値

6) 地域貢献活動

2007 年 9 月より会社近隣の公園の清掃美化活動を月 2 回実施してきた。

今後もこの活動を継続的に実施し、月 2 回（年 24 回）地域の清掃活動を目標としその他必要に応じて実施する。

5. 環境経営計画

新型コロナウイルスの対策の為、活動に関しては感染症対策に留意しながら行う。

(※に関しては感染症対策留意部分)

● 二酸化炭素排出量の削減

[1] 電気使用量の削減

- 1) エアコン温度の適正管理をする。
(夏の冷房時の室温は 28℃、冬の暖房時の室温は 20℃)
(夏場は熱中症にならないよう温度だけでなく湿度にも注意する)
(※換気のため一部窓を開放している事から温度管理を適切に行う)
- 2) 冷暖房の温度ムラを攪拌する事により、空調効率を向上させる。
- 3) 冷暖房の効率を高めるため窓に断熱フィルムを貼り、必要に応じてブラインドを閉める。
(※効率が低下するが、定期的な換気や一部窓を開けて作業を行う)
- 4) 必要な範囲（サーバー）の冷暖房の効率を高めるため、スクリーンカーテンを設置する。
- 5) 照明を休憩、外出時に消灯する。
- 6) 長時間使用しないパソコンの電源を切る。
- 7) 普段利用しない機器の電源を切り、待機電力を削減する。
- 8) エアコンやパソコンなどの購入時、電力効率が良い機器を採用する。
- 9) レイアウトの見直しを行い、フロアを統一するなどして照明、冷暖房の使用量を抑制する。
(※社員間の距離を離す為、感染状況に応じてフロアを分離する)
- 10) 定期的に温度を確認し、エアコンの利用を抑える。
- 11) ディスプレイの輝度を抑える。
- 12) エアコンの自動電源 OFF を設定し、消し忘れ時の無駄な消費を抑える。



[2] 化石燃料の削減

- 1) エコドライブを徹底する。(空吹かしをしない、適正回転数の運転など)
- 2) 積載量を遵守する。
- 3) 定期的整備の実施を行い、燃料効率の悪化防止に努める。
- 4) 燃費を計測しエコドライブの効果確認、車両状態の把握に利用する。
- 5) 現場事務所に車両を置いて、事務所との往復を乗り合いで移動する。
(※乗り合いで移動する際はマスクの着用、窓を開けるなどの対策を行う)
- 6) 徒歩通勤、自転車通勤を推奨する。
- 7) アイドリングストップを実施する。
- 8) 車両にエコドライブのステッカーを貼る。
- 9) 開発した燃費を管理するソフトを利用し、給油毎の燃費を管理する。
- 10) 効率的な工事を行い、無駄な燃料を使用しない。
- 11) 車両だけではなく重機についても無駄な燃料を使用しないよう徹底する。
- 12) 車両点検簿にアイドリングストップ実施を記入する。



● 廃棄物排出量の削減

[1] 一般廃棄物の削減

- 1) 瓶、カン、ペットボトルの分別を徹底しリサイクルに出す。
- 2) 書籍、新聞、コピー用紙などは古紙再生事業所に搬入し、再生紙のリサイクルに努める。
- 3) 用紙は種類によって普通紙、厚紙などの分別をしっかりと行う。
- 4) 使用済みの封筒を再利用する。
- 5) 積極的に裏紙を利用し、可能な限り両面印刷をする。
- 6) 印刷する時は原稿をチェックしミス無くす。
- 7) 極力データ化を行いパソコン上で閲覧する。
- 8) シュレッダーの代わりにエコロック（機密文書リサイクルシステム）を使用する。



[2] 産業廃棄物の削減

- 1) 分別をしっかりと行い、再利用可能なものは再利用する。
- 2) コンクリート殻、アスファルト殻などは、現場毎により近い中間処理所事業所と契約書・マニフェスト票管理を行い、適正な収集運搬処分によりリサイクルを実施する。
- 3) 粗大ゴミ、ビニール、プラスチック類などは、事業所では産業廃棄物となるので、同様の契約書・マニフェスト票管理を行い、処理事業所に自社運搬する。
- 4) 在庫管理を行い適切な在庫量で、不良在庫を出さない。
- 5) 再資源化が適切に行われているか現場及び資材置場の定期的な巡視と、マニフェスト管理が適切に行われているか指導を行う。

● 水使用量の削減

・水使用量の削減

- 1) 使用に際しては水の垂れ流し状態を無くし、こまめに蛇口を閉める。
(※使用水量が増えるが感染症対策の為、手をこまめにしっかりと洗う)
- 2) 節水コマを使用し水量を抑える。
- 3) 雨水貯留タンクを設置し、使用する水の量を抑える。



● グリーン購入

・グリーン商品購入の取組

商品を購入する場合、積極的にグリーン商品を購入する。

● 地域貢献活動

・公園清掃美化活動の取組

会社近隣の公園の清掃活動を、月に2回全社員および協力業者の方と行う。



● 上下水道漏水復旧活動

・水道漏水復旧の取組

災害発生時の水道復旧に関する講習や訓練を実施する。

静岡市総合防災訓練（管路復旧訓練）に参加する。



● その他（全般的な取組）

・5 S活動の取組

5 S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を実施し、作業環境や作業方法の改善を通じて生産性を高め、様々な無駄をなくす。

・情報伝達改善の取組

ビジネスチャットを導入して社員全体で情報を共有する事により無駄をなくす。

・手順書改善の取組

クラウド上で手順書の作成・共有・管理を行い、業務改善により無駄をなくし、作業の効率化を行う。

・作業環境改善の取組

夏現場に空調服を導入して熱中症対策及び安全性の向上、ミスの低減を行う。

● その他の取組

・ 社会貢献自動販売機の取組

障害者スポーツを支援するため、船越作業所に「ふじっぴー寄付型自動販売機」を設置する。

<http://www.tbsc.co.jp/item/contribution.html>

年間寄付金額： 79,150 円（2019年6月～2020年5月）

累計寄付金額： 521,281 円（2013年7月～2020年5月）



● その他の取組（清水管工事システム協同組合関係）

[1] 水道設備無料点検の取組

組合を通して市内の福祉施設の水道施設の無料点検を実施する。（年1回）

[2] 興津川清掃活動の取組

清水区の水源である興津川を清掃する「興津川クリーン作戦」に参加する。（9月）



● 環境活動の取組計画

取組項目	担当者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
電気使用量の削減	山田	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	見直 5/31
エアコンの温度管理	山田	温度 28℃	温度 28℃	温度 28℃	温度 28℃	実施	温度 20℃	温度 20℃	温度 20℃	温度 20℃	温度 20℃	実施	見直 5/31
化石燃料の削減	川口	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	見直 5/31
一般廃棄物の削減	草ヶ谷	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	見直 5/31
産業廃棄物の削減	平井	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	見直 5/31
水使用量の削減	山田	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	見直 5/31
グリーン購入	望月	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	購入 検討	見直 5/31
地域貢献活動	望月	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	見直 5/31
その他の取組	望月	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	見直 5/31

次年度も今年度と同一内容の取組とする。

6. 環境経営目標の実績

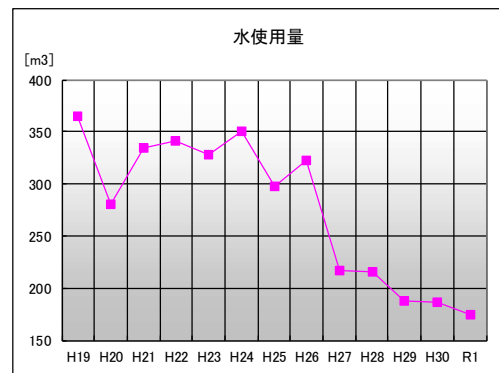
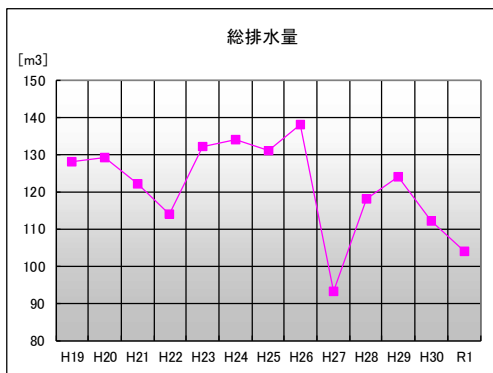
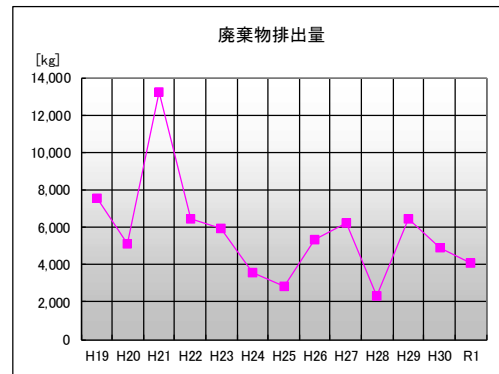
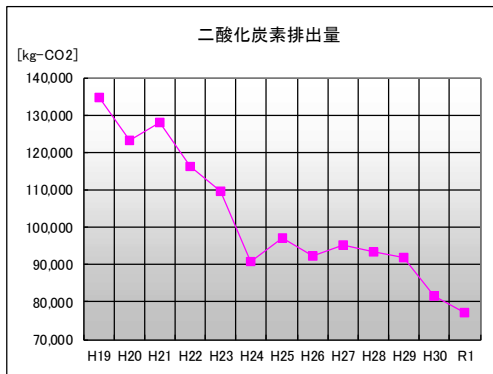
年間実績の推移（令和元年度実績及び前3年間実績）

		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
1. 二酸化炭素	Kg-CO2/年	92,771	91,900	81,539	77,020
電力	kWh/年	20,648	19,722	23,864	23,757
ガソリン	L/年	11,332	10,661	8,500	6,756
軽油	L/年	21,490	21,925	19,497	19,333
都市ガス	Nm ³ /年	14	12	6	6
2. 廃棄物	Kg/年	2,319	6,411	4,905	4,090
産業廃棄物	kg/年	1,810	5,910	4,430	3,600
一般廃棄物	kg/年	509	501	475	490
3. 総排水量	m ³ /年	118	124	112	104
4. 水使用量	m ³ /年	216	188	187	174
5. グリーン購入	%	79	79	79	82
6. 地域貢献活動	回	25	26	27	26

※実績に利用する電気事業者別二酸化炭素排出係数

0.482 (kg-CO2/kWh) 「H27 中部電力株式会社」(調整後係数)

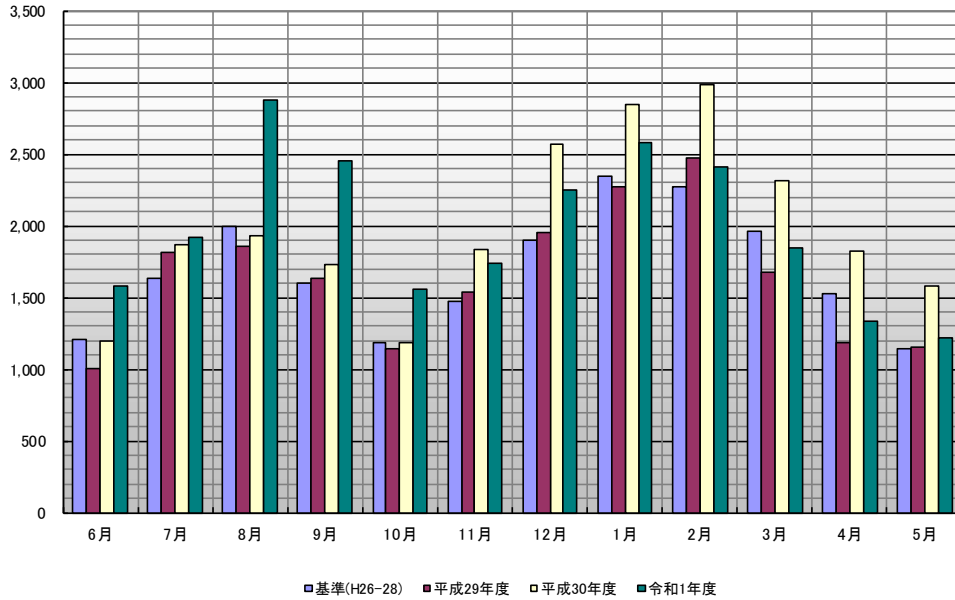
※船越作業所に設置している社会貢献自動販売機の電力については除外する。



● 電力 (kWh)

電力は基準比 117.3%の使用量でした。
現場事務所で使用する電力の分、増加した。
特に夏場のエアコンの影響が大きかった。

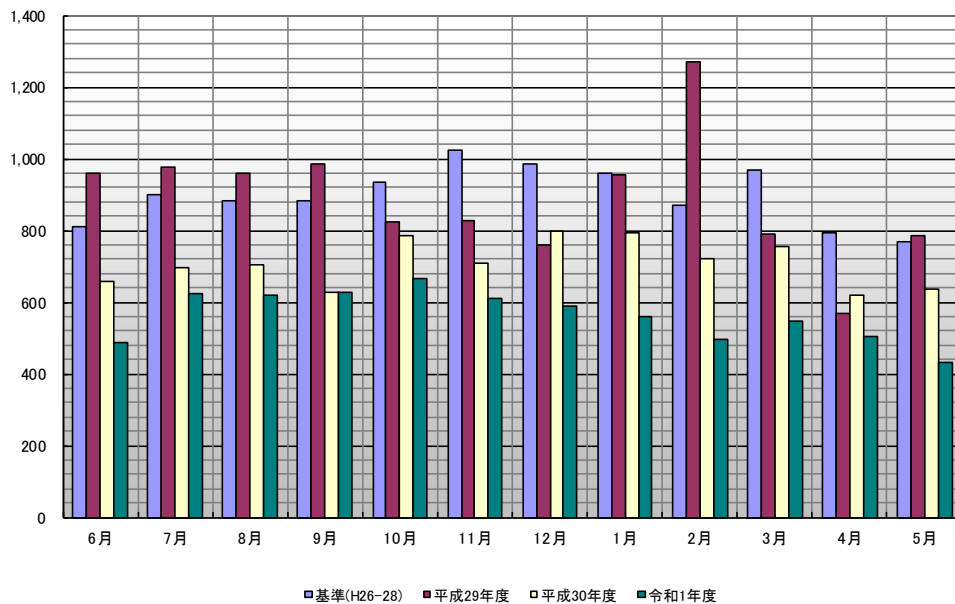
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合 計	19,722	23,864	23,757
基準比	97.4%	117.8%	117.3%



● ガソリン (L)

ガソリンは基準比 62.6%の使用量でした。
近距離の現場が多かった事などから、前年より
使用量が削減できている。

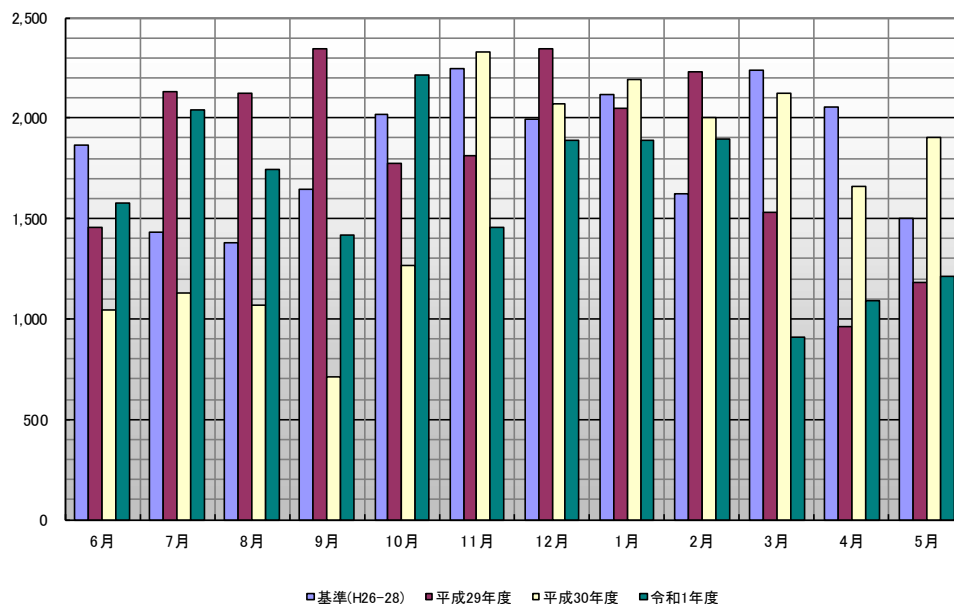
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合 計	10,661	8,500	6,756
基準比	98.9%	78.8%	62.6%



● 軽油 (L)

軽油は基準比 87.4%の使用量でした。
 年間を通して一定の量を使用している。
 なお3月以降使用量が大幅に減少している。

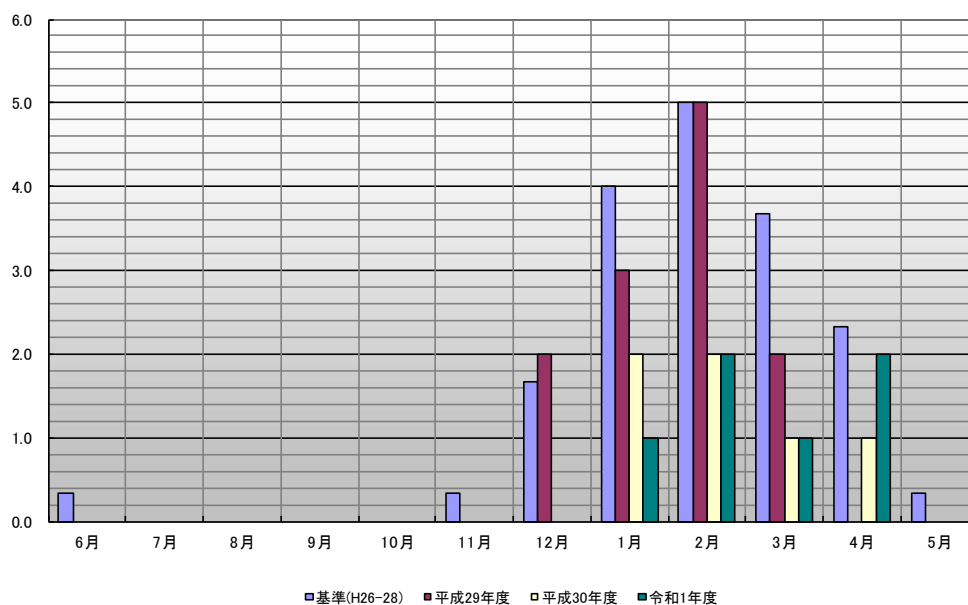
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合計	21,925	19,497	19,333
基準比	99.1%	88.1%	87.4%



● 都市ガス (Nm³)

都市ガスは基準比 33.3%の使用量でした。
 お湯を必要な分だけ電気で沸かしている為、ガスの使用量が大幅に減少している。

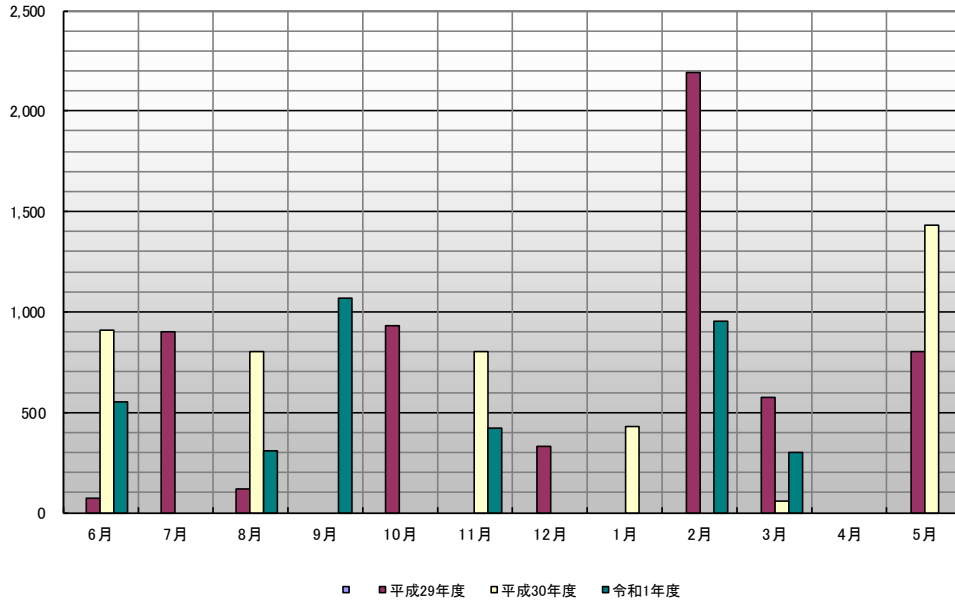
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合計	12	6	6
基準比	66.7%	33.3%	33.3%



● 産業廃棄物 (kg)

産業廃棄物は基準比 87.9%の排出量でした。
 廃棄物を出す工事が少なかった為、排出量が減少した。

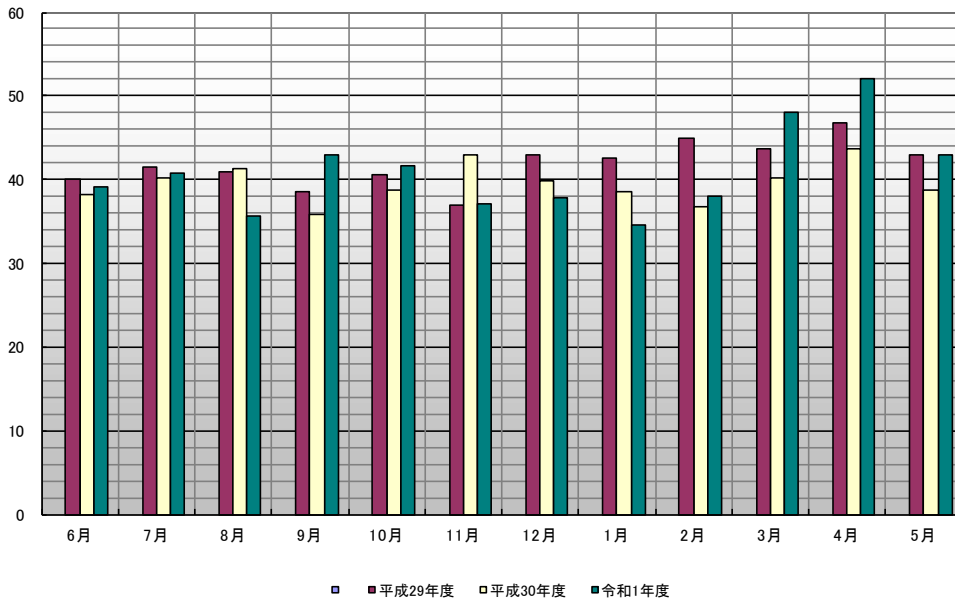
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合 計	5,910	4,430	3,600
基準比	144.3%	108.1%	87.9%



● 一般廃棄物 (kg)

一般廃棄物は基準比 91.5%の排出量でした。
 長期の現場事務所が終了し片付けを行った事により、若干増加した。

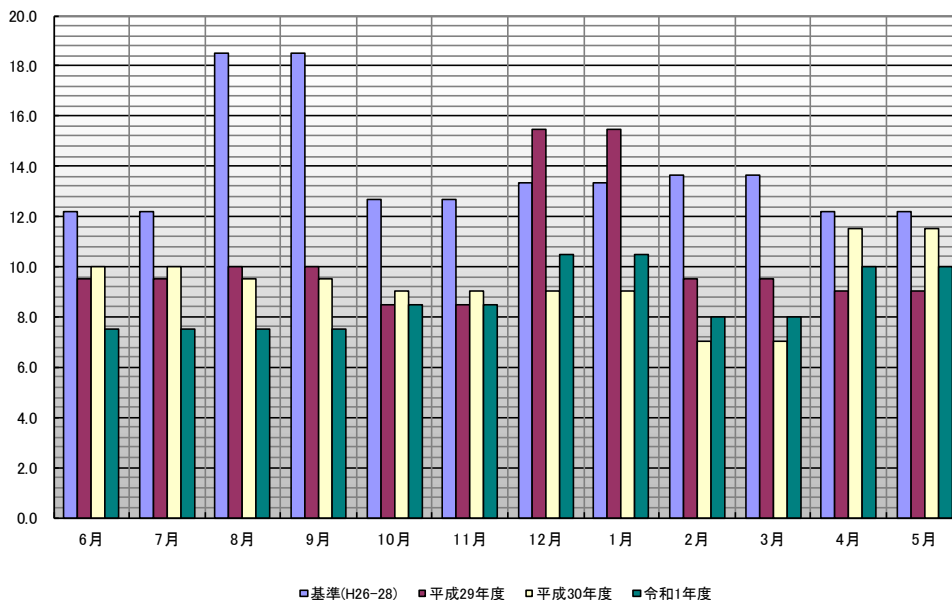
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合 計	501	475	490
基準比	93.7%	88.7%	91.5%



● 総排水量 (m³)

総排水量は基準比 63.0%の排出量でした。
年間を通して排出量はほぼ一定で推移している。

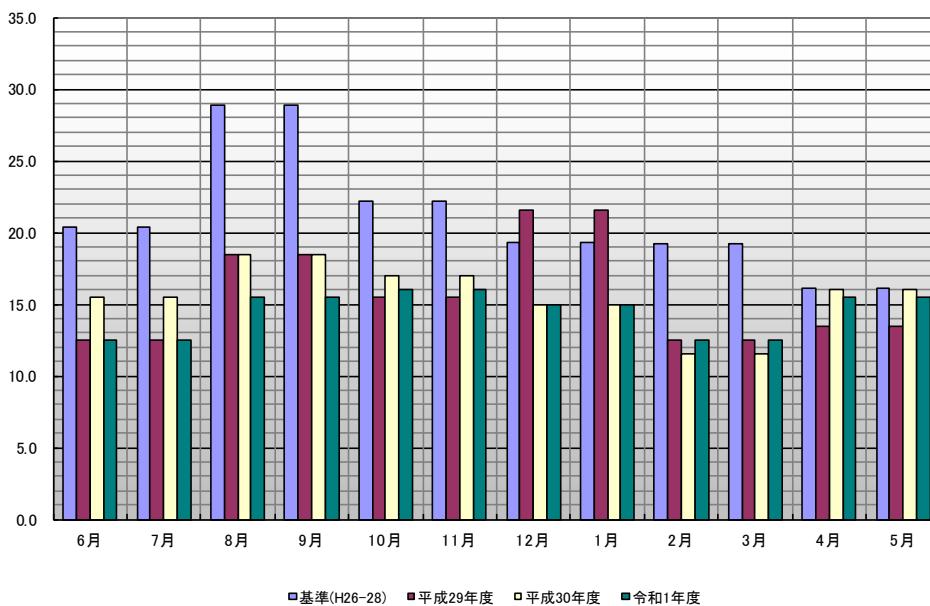
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合 計	124	112	104
基準比	75.2%	67.9%	63.0%



● 給水量 [水道] (m³)

水道は基準比 69.0%の使用量でした。
前年より使用量が減った。年間を通して使用量が同じ位で推移している。

	H29 年度	H30 年度	R1 年度
合 計	188	187	174
基準比	74.6%	74.2%	69.0%



● 上水道漏水復旧

静岡市における上水道本管や各家庭の漏水の復旧を行っています。

令和元年度は合計 238 件の上水道漏水を復旧しました。

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
道路漏水修理	74 件	48 件	40 件	38 件	57 件
工事破損修理	26 件	27 件	22 件	23 件	25 件
給水漏水修理	129 件	165 件	151 件	133 件	156 件
合 計	229 件	240 件	213 件	194 件	238 件

下記は静岡市清水区吉川で本管に穴が空いて漏水した時の状況及び復旧写真です。



●災害協定関係の取組

・災害時における応急復旧活動（熊本市）

平成 28 年 4 月 熊本地震が発生し熊本市の水道施設に甚大な被害が生じました。
その応急復旧活動を行いました。



・災害時における応急対策活動（静岡市）

平成 26 年 10 月 台風第 18 号により水道施設が被災し断水が発生しました。
その応急給水及び復旧活動を行いました。



・災害時における清掃活動（静岡県）

平成 30 年 7 月 台風第 12 号により清水港（マリンパーク周辺）にごみや木の枝・葉などが吹き寄せられ、その清掃活動を行いました。



7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

	達成率	結果	取組前比
1. 二酸化炭素排出量の削減	118.8%	○	-39.6%
2. 廃棄物排出量の削減	111.6%	○	-64.1%
3. 総排水量の削減	158.7%	○	-35.8%
4. 水使用量の削減	144.8%	○	-56.7%
5. グリーン購入	107.9%	○	—
6. 地域貢献活動	108.3%	○	—

※達成率：目標／実績（グリーン購入、地域貢献活動は 実績／目標）

※取組前比：エコアクション取組前と比較しての排出量及び使用量

詳細「令和元年度 各項目の目標（×98.5%）、実績及び達成率」

		基準	目標	実績	達成率	取組前比
1. 二酸化炭素	Kg-CO2/年	92,895	91,502	77,020	118.8%	-39.6%
電力	kWh/年	20,251	19,947	23,757	84.0%	-19.3%
ガソリン	L/年	10,784	10,622	6,756	157.2%	-59.4%
軽油	L/年	22,123	21,791	19,333	112.7%	-29.8%
都市ガス	Nm ³ /年	18	18	6	300.0%	-93.2%
2. 廃棄物	Kg/年	4,633	4,564	4,090	111.6%	-64.1%
産業廃棄物	kg/年	4,097	4,036	3,600	112.1%	-64.6%
一般廃棄物	kg/年	536	528	490	107.8%	-59.5%
3. 総排水量	m ³ /年	165	165	104	158.7%	-35.8%
4. 水使用量	m ³ /年	252	252	174	144.8%	-56.7%
5. グリーン購入	%	76	76	82	107.9%	—
6. 地域貢献活動	回	24	24	26	108.3%	—

※基準値は平成26年度～28年度3年間の実績平均値

※達成率は目標／実績×100(%)

詳細「電力の場所別内訳」

		基準	目標	実績	達成率	取組前比
電力(事務所・倉庫)	kWh/年	19,747	19,451	18,660	104.2%	-36.6%
電力(建設現場)	kWh/年	504	496	5,097	9.7%	—

参考「売上あたりの達成率」

		基準	目標	実績	達成率
1. 二酸化炭素	Kg-CO2/年	92,895	86,185	77,020	111.9%
電力	kWh/年	20,251	18,788	23,757	79.1%
ガソリン	L/年	10,784	10,005	6,756	148.1%
軽油	L/年	22,123	20,525	19,333	106.2%
都市ガス	Nm ³ /年	18	17	6	283.3%
2. 廃棄物	Kg/年	4,633	4,298	4,090	105.1%
産業廃棄物	kg/年	4,097	3,801	3,600	105.6%
一般廃棄物	kg/年	536	497	490	101.4%
3. 総排水量	m ³ /年	165	165	104	158.7%
4. 水使用量	m ³ /年	252	252	174	144.8%
5. グリーン購入	%	76	76	82	107.9%
6. 地域貢献活動	回	24	24	26	108.3%

※目標の計算式は“基準×年度削減率×(年度売上高/基準売上高)”

二酸化炭素計算式：92895×0.985×(441.75/469) = 86,185

■ 評価

「二酸化炭素排出量の削減」、「廃棄物排出量の削減」、「総排水量の削減」、「水使用量の削減」、「グリーン購入」、「地域貢献活動」の6項目の全てにおいて目標を達成する事ができた。

なお売上あたりの原単位でも目標が達成出来ている。

■ 各項目の評価

1) 二酸化炭素排出量の削減

ガソリン、軽油、都市ガスの項目において目標を達成する事ができた。

電力に関しては個別目標が達成出来なかった。達成出来なかった主要因としては、大規模な水道工事を受注した事が影響している。(弊社の水道工事では過去最大)

工事名 : 平成 30 年度 水道事整改 第 3 号 清水区横砂外配水管布設替工事

工事期間 : 平成 30 年 8 月 17 日～令和 2 年 2 月 28 日

請負代金 : 213,187,980

配管延長 : 1,681m

普段は 1 年以内に終わる工事を受注しているため現場事務所を設置する場合、設備は簡易的な物が多い。そのため電気の使用量は非常に少ない。しかし今回は工事が長期間に渡るため、本格的に設備を導入したため電力の消費量が多くなった。

なお事務所や倉庫で利用している電力に関しては、個別目標を達成している。

電力消費量は増えることになったが、インターネットを利用して本社と結ぶことにより、本社と現場事務所の移動が減り、ガソリンの使用量が抑えられている。

2) 廃棄物排出量の削減

一般廃棄物、産業廃棄物の両項目において目標を達成する事ができた。

今後も分別をしっかりと行い少しでもリサイクル出来るようにして排出量削減に努めたい。

3) 総排水量の削減

4) 水使用量の削減

目標を達成する事ができた。生活用に限られており、これ以上の削減は難しいと思われるが、今後も引き続き節水を心がけたい。

5) グリーン購入

目標を達成する事ができた。今後も積極的にグリーン商品の購入を行っていききたい。

6) 地域貢献活動

目標を達成する事ができた。地元からも活動に対して感謝されており、今後も地域貢献活動を継続的に行っていききたい。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 当社に適用となる主な環境関連法規

遵守確認日：令和2年8月3日

遵守確認者：青木 茂篤

法規等の名称	規制内容	遵守状況
廃棄物処理法（委託基準の確認）	委託処理契約書、処理業者許可証	遵守
・保管基準（掲示板 60x60cm 以上表示）	マニフェスト交付保管・交付状況報告	遵守
・産業廃棄物処分業許可	産廃収集運搬業許可・更新	遵守
リサイクル法（資源の3R促進）	指定副産物（土砂・アス・コン塊）	遵守
再生資源利用省令（解体、土、外構工事）	指定副産物の再生資源利用計画・実施	遵守
指定副産物利用促進省令（+型枠・木工）	指定副産物の再生資源利用計画・実施	遵守
建設リサイクル法（新築及び解体改修工事）	指定副産物の再生資源利用計画・実施	遵守
PCリサイクル法	特定OA機器の廃棄（リサイクル委託）	遵守
静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例	事業系一般廃棄物の処理	遵守
静岡県・市生活環境の保全等に関する条例	産廃委託処理先の現地確認	遵守
騒音・振動規制法（県生活環境保全条例）	特定作業事前届、特定施設の届け出（空調圧縮機 3.75kW 以上）、基準値遵守	遵守
フロン排出抑制法（回収破壊・漏洩防止）	業務用冷凍機器の簡易点検（四半期1回）	遵守
下水道法（公共下水道への排水）	公共下水道管理者への届出	遵守
河川法（河川への排水）	河川管理者に届出	遵守
浄化槽法（合併処理浄化槽）	設置届出、法定検査（第11条）	遵守
消防法（アセチレンガス等の取扱い）	アセチレンガス：40kg以上、消防署届出	遵守
高圧ガス保安法（高圧ガスボンベ使用）	溶接、熱切断用高圧ガスの保安基準	遵守
労働安全衛生法（石綿障害予防規則）	石綿管の取扱作業	遵守
石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル	労働衛生3管理（作業環境・作業・健康）	遵守

環境関連法規への遵守状況確認結果、違反はありません。

2) 環境関連法規への違反、控訴等の有無

関連当局よりの違反等の指摘、及び利害関係者等の訴訟は、過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し日：令和 2 年 9 月 14 日

【今年度の取り組み評価】

今年度の環境経営目標は排出量で基準年度の 98.5%とした。実績は 6 項目全てが達成できたが、その中の 1 項目である二酸化炭素排出量を構成する電力が達成できなかった。これは一昨年受注した大規模工事の現場事務所での消費電力が増加したこと、また夏の酷暑が電力量の増加につながったものとする。また 3 月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の観点からソーシャルディスタンスを取るために事務所を 2 室に分かれて作業するようにした為、エアコンや照明の消費電力量が増えたことによるものとする。厳しい環境下において目標を達成できているのは、毎月実施している種まきの会（安全協議会）を通じ日頃の社員一人一人の意識と行動が確実に向上しているからだとする。

【今後の取り組みについて】

エコアクション 21 は継続こそが重要であると考えます。現場での様々な条件、長雨や猛暑、また感染症などの自然環境の変化や猛威なども踏まえ、毎月の種まきの会において活動報告や結果を見直し次の計画を提案していきたい。

また今後静岡市では大幅な水道の更新計画が実施される。老朽化した水道管の漏水修繕や耐震管への布設替えなど市民が安心して安全な水を安定的に使用できるよう、水道業者として積極的に取り組みライフラインの保全に寄与したい。

我々が日々できる事は小さなことであるけれど、それが積み重なって大きな力となる事を意識し毎日を過ごしていきたい。それが積み重なって大きな力となる事を意識し、社員一丸となって日々邁進していきたい。

山武設備株式会社

代表取締役 神田 誠